

令和5年度次世代につなぐ景観資源再生事業

1 事業実施箇所

(実施市町村) ^{くすまち} 玖珠町

(実施箇所名) ^{きゅうくるしましていえん} 旧久留島氏庭園

(実施箇所紹介) 江戸時代の森藩久留島氏陣屋跡の西側にある丘陵(末広山)を利用してつくられた庭園です。8代藩主通嘉の時に神社造営と合わせて一大土木工事が行われ、現在の形になりました。庭園は、末広山東傾斜面と裾部を利用した御殿に面する藩主御殿庭園と末広山の南端に建てられた栖鳳楼の周囲につくられた栖鳳楼庭園、末広山西側の清水御門前の堀の一部を庭園化した清水御門御茶屋庭園の3つから形成されています。

2 実施時期

令和 5 年 11 月

3 写真



実施前



実施後



実施前



実施後

4 PRコメント

永く手つかずだった清水御門周辺の森林の中にある危険木や景観支障木を整理しました。これにより、神社の正面空間や庭園景観が往時の姿に近づきました。また、三島公園の童話碑付近には森藩の陣屋があり、当時、ここから丘陵を見上げると栖鳳楼が見えていました。しかし、時間の経過とともに樹木が生い茂り、栖鳳楼を覆い隠してしまいました。景観支障木の伐採と透かし剪定を行ったことで、童話碑付近から、栖鳳楼を望むことができるようになりました。皆さんも、一年中景観を楽しめる旧久留島氏庭園に足を運んでみてはいかがでしょうか。

5 その他

春にはたくさんの桜が咲き、お花見客でにぎわいます。5月5日の子どもの日に、三島公園で日本童話祭を開催。秋には紅葉が庭園を彩り、素晴らしい景観を創ります。